

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：Atrial Functional MRに対する至適外科治療の検討
- ・目的：Atrial functional mitral regurgitation (Atrial functional MR) は、慢性心房細動により左房拡大に伴う僧帽弁輪拡大や僧帽弁後尖のテザリング、ハムストリングにより弁尖の接合不全を呈することにより生じる機能性僧帽弁閉鎖不全症（機能性MR）のことで、左室機能障害や僧帽弁尖病変を伴わない病態とされています。Atrial functional MRに対する標準外科治療は確立されておらず、病態や遠隔期の治療成績等については明らかになっていない部分も多く、一般的な機能性MRに対する治療をAtrial functional MRにも当てはめるという手法については議論の余地があります。当院においてAtrial functional MRに対して手術介入した症例を後方視的に検討し、至適外科治療戦略および外科的介入による変化について検討します。
- ・研究期間： 承認日 ~ 2027年3月31日
- ・研究対象：2008年1月1日 ~ 2025年3月31日

### 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：電子カルテから、年齢、性別、術前診断、手術日、手術方法、人工心肺時間、心肺停止時間、体表面積、心拍数、発作性・持続性心房細動の有無、術前症状、術前NYHA分類、既往歴（感染性心内膜炎、高血圧症、2型糖尿病、虚血性心疾患、慢性腎不全、維持透析、慢性閉塞性肺疾患）の有無、術前・術後・遠隔期の経胸壁心エコー検査日、それぞれのエコーにおけるLAD、IVS、PWT、LVDd、LVDs、EF、MRの重症度、病変および機序、腱索断裂の有無、僧帽弁輪径、vena contracta、MR jet area、TRの重症度、Mitral-Septal Angle、術後、遠隔期のAfの有無、術後30日および遠隔期死亡、術後および遠隔期の合併症、遠隔期における再入院の有無およびその原因、最終フォローアップ日を調査します。

### 利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 智美

### 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 智美